



地域小中学生の工場見学・職場体験学習を
通じたものづくりの面白さ伝承
豊生ブレーキ工業株式会社

当社は「良き企業市民として社会に貢献すること」を経営理念の一つとしております。その中の地域貢献活動の一環として毎年、近隣にある小学校の工場見学や中学校の職場体験学習の受け入れを行っています。

小学校の工場見学では5年生を招き、鉄の板からブレーキができるまでの流れを、各工程担当者の説明を交えながら見学してもらう他、子供たち一人ひとりにブレーキのカットモデルを動かしてもらい、ブレーキが制動するしくみも学んでもらっています。社会科の授業内容と合致していることもあり、製品が各工程ごとに生産されていく流れに子供たちも大変興味をもってくれます。

中学校の職場体験学習では2年生の希望者を受け入れ3日間に渡り、技術、安全、保全、製造等、自動車部品工場の各分野の仕事を学習体験してもらいます。

中でも保全作業では、設備の電気配線や不具合箇所を特定する実習をする他、製造作業では、現場の教育用ラインで自らの手で実際のブレーキの組み立てを体験してもらいます。組立は大変難しい作業で、生徒も苦戦をしていますが、もともと自動車部品に興味のある生徒たちなのでとても一生懸命取り組んでいます。

食事や休憩時間も職場の人たちと一緒に過ごしますので、会社生活と同じような体験をしてもらえているのではないのでしょうか。

子供たちを預かりますので受け入れる当社スタッフたちも少々緊張致しますが、見学や体験を終えた子供たちから頂く感謝の「寄書き」や「手紙」に目を通しますと、会社で働く先輩として身の引き締まる思いと、ものづくりの面白さが伝わった喜びが湧き上がります。

当社はこれからも地域の子供たちの受け入れを継続していき、ものづくりの面白さや大切さ、働く楽しさを伝えることで、未来に向けた人づくりに微力ではありますが貢献していければと考えております。



小学校工場見学



中学生職場体験